

なめがたでキラリ輝く「ひと」

水田の中を自在に泳ぐアイガモ。田宮さん所有の水田



田宮 竜平さん (35歳)

Profile

水稲農家。平成 28 年に就農。家族で営む農園で、父と共に環境に配慮した「アイガモ農法」に取り組む。手賀在住。

青々とした水田に放鳥され、スイスイ泳ぐアイガモ。かわいらしい姿で、稲に付く害虫や雑草を食べてくれます。

水田を管理するのは、家族で「アイガモ農法」に取り組む田宮竜平さん。無農薬・無化学肥料にこだわり、安心して安全なお米を生産しています。

「アイガモ農法」は、父が 20 年ほど前から始めました。自然環境や人の体に優しい農法です。アイガモが害虫や雑草を食べてくれるほか、動き回ることでよ

て田んぼの水がかくはんされることも、おいしい米作りに一役買っていますね」

田宮さんは、約 2 年前に市職員を辞めて就農しました。

「農家では、後継者や人手不足が悩みの種。我が家も例外ではありませんでした。田んぼが荒地になってしまふのではという危機感、自然環境や農法にこだわる父の姿、また、そのお米を求めるお客さんを見て、自分もこの仕事をしたいと思いました」と田宮さん。

自然が相手の仕事なので、天候に左右されることはもちろん、アイガモをトンビやイノシシなどの外敵から守るための防護網や電気柵を設置するなど、手間がかかります。それでも、自分たちが丹精したお米を求めてくれるお客さんのニーズに応えたいと、日々努力しています。

「父の元で、まだまだ勉強の毎日。覚えることもたくさんありますが、充実しています」と田宮さんは笑顔を見せます。

「種まきから始まり、収穫を迎えたときの喜びは何物にも代えがたいですね。自分たちが作ったこだわりのお米を、全国の人に知ってもらって、食べてもら

たいと思っています」

アイガモ農法で育てられたお米「愛鴨米」は、直接販売やインターネットでの販売により、各地にお客さんが広がっています。また、本市のふるさと納税の返礼品としても取り扱われています。

「このお米を食べて『おいしい』と言ってもらえることがうれしいですね。喜んでくれるお客さんの笑顔のためにも、頑張っていきたいです」

昨年度、田宮さんは、市の 6 次産業化ビジネスセミナーを受講。

「お米の消費減少を助けるためにも、愛鴨米を使った加工品を作り、全国に伝えていけたら」と、これからの夢がふくらみます。



ふるさと納税の返礼品でも取り扱っている「愛鴨米」。こちらは玄米。自然派志向の方にも人気です。写真はなめがた日報提供

スマホでもっと楽しめる！市報なめがた デジタルブック！

▼市報に登場するこのマークに注目！



市報に掲載されていない画像や動画をご覧いただけます。右の QR コードから無料アプリ(カタボケ)をご覧ください。



このアイコンが目印

デジタルブックは 9 言語 に対応

Delivering e-book in English
電子書籍以中文简体字发布
電子書籍以中文繁體字發布
한국어전자전송중
ในระหว่างการจัดส่งหนังสือดิจิทัล
Entregar e-book em Português
Entregar e-libro en Español
Menyampaikan e-book dalam Bahasa Indonesia

※対応言語：日本語、英語、中国語（簡・繁）、韓国語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語

※ブラウザ版は音声読み上げや画像スライドショーには対応していません。無料アプリ(カタボケ)のインストールが必要です。

「市報なめがた」は、公共施設等にも配置しています。

【市報配布に関するお問い合わせ】

総務課(麻生庁舎) ☎ 0299-72-0811

スマートフォンをお持ちの方は、こちらから市公式ホームページをご覧いただけます。

